

機関番号：34310

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2007～2009

課題番号：19330067

研究課題名(和文) 医療人材の地域間・医療機関間偏在の原因と影響、及び政策対応の研究

研究課題名(英文) Research of the causes, impacts and policies on the geographical and specialty area imbalance of medical professionals

研究代表者

中田 喜文 (NAKATA YOSHIFUMI)

同志社大学・総合政策科学研究科・教授

研究者番号：50207809

研究成果の概要(和文)：

日本の医療人材の現状を、労働市場における状況、医療施設における状況に分けて分析した。医療人材の労働市場においては、労働市場としての需要と供給のミスマッチの回復機能は、賃金水準に対し需給状況が限定的な影響を与えているとの結果が得られた。同時に日本の医療制度の持つ、様々な医療施設のマネジメントに対する影響を通じた間接的な影響の存在も確認できた。このことは日本の医療政策の近年の変化が、個別医療施設のマネジメントの有り様に影響を与えることを通して、一義的にはその組織内の労働条件に影響を与え、さらには間接的に医療人材の労働市場にも影響を与えることが分かった。

研究成果の概要(英文)：

We analyzed the internal and external labor market of Japanese medical professionals. Our findings are summarized as follows. First, the Japanese labor market for those professionals is functioning to match the demand and supply. But the their salary and other working conditions are equally influenced by various national policies.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	5,300,000	1,590,000	6,890,000
2008年度	4,700,000	1,410,000	6,110,000
2009年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000
年度			
年度			
総計	14,900,000	4,470,000	19,370,000

研究分野：人的資源管理

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：医療人材、労働市場、国際比較、人材、ミスマッチ

1. 研究開始当初の背景

2005年までは看護師、それ以降は医師の不足が大きな社会問題となっていた。ただ、なぜ不足が起こっているのか、その不足は特

定の地域で起こっているのか、それとも特定の医療施設の問題か、それとも特定の診療科の問題なのか、という基本的な事実の認識する不十分であった。その様な状況において、

政府は、極めて対処療法的な政策対応を行っていた。

2. 研究の目的

このような状況において、まずは医療人材の労働市場の正確な状況把握、次にはそのような労働市場における需給環境がなぜ起きているのか、その原因究明が社会的に重要な課題となっていた。それ故、本研究はそれを目的に提案された。

3. 研究の方法

研究方法としては、2つの手法を用いた。1つは、医療施設に訪問し、医療専門職に対するヒアリングによるデータ収集とその分析である。もう一つは、既存の公的データを用いた数理統計的分析である。

4. 研究成果

日本の医療人材の現状を、労働市場における状況、医療施設における状況に分けて分析した。医療人材の労働市場においては、労働市場としての需要と供給のミスマッチの回復機能は、賃金水準に対し需給状況が限定的な影響を与えているとの結果が得られた。同時に日本の医療制度の持つ、様々な医療施設のマネジメントに対する影響を通じた間接的な影響の存在も確認できた。このことは日本の医療政策の近年の変化が、個別医療施設のマネジメントの有り様に影響を与えることを通して、一義的にはその組織内の労働条件に影響を与え、さらには間接的に医療人材の労働市場にも影響を与えることが分かった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計21件)

1. Yoshifumi Nakata and James Buchan (2011) "Editorial: Paying nurses: a cross-country comparison", *Journal of Clinical Nursing* 20(1-2), p.1-3, 査読無
2. Yoshifumi Nakata and Satoru Miyazaki (2011) "Nurses' pay in Japan: market forces vs. institutional constraints", *Journal of Clinical Nursing* 20(1-2), pp. 4-11, 査読有
3. Sachiko Tanaka, Yukie Maruyama, Satoko Ooshima and Hiroataka Ito (2011) "Working condition of nurses in Japan: awareness of work-life balance among nursing personnel at a university hospital", *Journal of Clinical Nursing* 20(1-2), pp. 12-22, 査読有
4. 宮崎悟 (2011) 「医師・看護師の労働移動パターンの一考察」、同志社大学 ITEC ワーキングペーパー11-01、pp. 1-25、査読無
5. 伊藤嘉高、田中幸子、大嶋聡子 (2010) 「「移動の時代」における看護職員の就労構造と就労支援—山形県における看護職員の年齢構成から—」、*日本医療・病院管理学会誌* 47(4)、pp. 209-216、査読有
6. 宮崎悟 (2010) 「拡大する女性看護職の非正規雇用と看護労働の動向—「就業構造基本調査」データによる概観—」、*日本医療・病院管理学会誌* 47(4)、pp. 197-207、査読有
7. 中田喜文、宮崎悟 (2010) 「日本における医療人材の課題」*国際産研* 29、pp. 193-215、査読無
8. 宮崎悟、中田喜文 (2010) 「医師・看護師の就業意識とその要因」、同志社大学 ITEC ワーキングペーパー10-01、pp. 1-29、査読無
9. 宮崎悟 (2009) 「近年における看護職員の潜在化と労働環境の動向」、同志社大学 ITEC ワーキングペーパー09-01、pp. 1-27、査読無
10. Yoshifumi Nakata, Fumiaki Yasukawa and James Buchan (2008) "Editorial: Nursing workforce: global challenges and solutions", *Journal of Clinical Nursing* 17(24), p. 3261, 査読無
11. Akira Kawaguchi, Fumiaki Yasukawa and Yoichiro Matsuda (2008) "An analysis of job search behaviour of inactive nurses in Japan", *Journal of Clinical Nursing* 17(24), pp. 3275-3285, 査読有
12. Tetsushi Fujimoto, Sachi Kotani and Rie Suzuki (2008) "Work-family conflict of nurses in Japan", *Journal of Clinical Nursing* 17(24), pp. 3286-3295, 査読有
13. Sachiko Tanaka, Takako Serizawa and Chizuru Sakaguchi (2008) "Career redevelopment programmes for inactive nurses in Japan", *Journal of Clinical Nursing* 17(24), pp. 3296-3305, 査読有

14. Yoshifumi Nakata and Satoru Miyazaki (2008) "Non-working nurses in Japan: estimated size and its age-cohort characteristics", *Journal of Clinical Nursing* 17(24), pp. 3306-3316, 査読有
15. 宮崎悟、中田喜文 (2008) 「看護職員の潜在化動向とその要因」、同志社大学 ITEC ワーキングペーパー08-08、pp. 1-16、査読無
16. 田中幸子、芹澤貴子、坂口千鶴 (2008) 「潜在看護職者の再教育による復職支援の現状と課題—看護力再開発講習会と病院における就労支援講習会—」*社会保険旬報* 2347、pp. 31-39、査読無
17. 藤本哲史、小谷幸、鈴木理恵 (2008) 「看護職のワーク・ファミリー・コンフリクト—勤務体制と子育て支援が仕事と子育ての両立に与える影響—」*社会保険旬報* 2346、pp. 26-34、査読無
18. 川口章、安川文朗、松田洋一郎 (2008) 「中央ナースセンター求職登録データによる潜在看護職の求職行動に関する分析」*社会保険旬報* 2344、pp. 38-47、査読無
19. 安川文朗 (2008) 「日本の看護需給と働き甲斐：現状と課題の社会経済分析、連載の目的と概要」*社会保険旬報* 2343、pp. 26-29、査読無
20. 中田喜文、宮崎悟 (2008) 「日本における潜在看護師数の推定とその世代・年齢分布の特徴」*社会保険旬報* 2343、pp. 29-37、査読無
21. 安川文朗、川口章 (2007) 「中央ナースセンター求職登録データによる潜在看護職の求職行動に関する分析」同志社大学 ITEC ワーキングペーパー07-16、pp. 1-20、査読無

[学会発表] (計 6 件)

1. 中田喜文、宮崎悟 「日本における医療人材の課題」関西国際産業関係研究所 2 月月例研究会、同志社大学、2010 年 2 月 13 日
2. Sachiko Tanaka "Working condition of nurses in Japan: Reconciliation work and private life", *Hawaii Seminar on Nursing Workforce and Labour Market Research*, Hawaii, USA, 2009 年 3 月 27 日

3. Fumiaki Yasukawa "Staffing, patient outcome and nurse productivity: A pilot analysis", *Hawaii Seminar on Nursing Workforce and Labour Market Research*, Hawaii, USA, 2009 年 3 月 27 日
4. Yoshifumi Nakata and Satoru Miyazaki "Japanese nurses pay: Market forces vs. institutional constraints", *Hawaii Seminar on Nursing Workforce and Labour Market Research*, Hawaii, USA, 2009 年 3 月 27 日

[図書] (計 2 件)

1. 連合総合生活開発研究所・同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター編 (2011) 「医療人材の確保・育成の課題Ⅱ—連合総研・同志社大学 ITEC 共同研究報告書」、pp. 1-XX、中田喜文・長谷川敏彦・小川忍・篠原國造・田中幸子による分担執筆、査読無 (近刊)
2. 連合総合生活開発研究所・同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター編 (2010) 「医療人材の確保・育成の課題Ⅰ—連合総研・同志社大学 ITEC 共同研究報告書」、pp. 1-55、中田喜文・小川忍・篠原國造・藤本哲史・田中幸子・飯倉裕之・米田幸夫による分担執筆、査読無

[その他]

ホームページ等
同志社大学技術・企業・国際競争力研究センターのホームページ上に研究代表者及び分担者の成果をワーキングペーパーの形で公表。
<http://itec.doshisha-u.jp/j/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中田 喜文 (NAKATA YOSHIFUMI)
同志社大学・総合政策科学研究科・教授
研究者番号：50207809

(2) 研究分担者

藤本 哲史 (FUJIMOTO TETSUSHI)
同志社大学・総合政策科学研究科・教授
研究者番号：50278313

三好 博昭 (MIYOSHI HIROAKI)
同志社大学・総合政策科学研究科・教授
研究者番号：80399055

(2008 年度まで)

川口 章 (KAWAGUCHI AKIRA)
同志社大学・政策学部・教授
研究者番号：50257903

安川 文朗 (YASUKAWA FUMIAKI)
熊本大学・法学部・教授
研究者番号：90301845

田中 幸子 (TANAKA SACHIKO)
山形大学・医学部・教授
研究者番号：20286371

宮崎 悟 (MIYAZAKI SATORU)
同志社大学・高等研究教育機構・研究員
研究者番号：90533373

(2009 年度から)